

職業能力評価基準(産業廃棄物処理業)レベル区分の考え

レベル	レベル区分の目安	想定レベル
レベル 4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業部門単位の責任者として、組織目標や計画を設定し、広範かつ長期的な視点での判断及び意思決定を行いながら、業務を統括するために必要な能力水準 ・社内外の関係者と良好な関係を維持し、部門にとって必要な交渉、調整を実施できる能力水準 ・今後の事業課題にリーダーシップを発揮できる能力水準 	部長、部門長
レベル 3	<ul style="list-style-type: none"> ・課レベル組織単位の責任者として、上位方針を踏まえて問題解決を図りながら組織の管理運営を行うために必要な能力水準 ・業務の計画、実行、チェック、改善にリーダーシップを発揮し、同時に採算管理を意識する能力水準 ・社内の視点のみならず顧客や地域の信頼を得られるよう業務の結果を評価し、必要に応じて提案、対応指示ができる能力基準 	課長
レベル 2	<ul style="list-style-type: none"> ・グループやチームの中心メンバーとして、部下・メンバーの報告を受け、相談に乗りながら、求められる法的対応事項や業務基準に沿って、業務が適切に進んでいるか確認、点検し、その進め方等について適切な方向へ誘導できる能力水準 ・自己の職務範囲において、求められる法的対応事項や業務基準に沿いつつ、業務遂行上、その問題点、改善点を発見できる能力基準 	リーダー、主任
レベル 1	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者として、上司の指示・助言を踏まえて、社内規則等に従い、定例的業務を確実に遂行するために必要な能力水準 ・自己の職務範囲において、求められる法的対応事項や業務基準に沿って、業務を遂行し、その進捗・結果について報告・記録できる能力基準 	各業務担当者 (一般社員)

産業廃棄物処理業におけるキャリア形成の例

